

# 女性部だより

年金者組合  
京都府本部  
女性部発行  
2023年  
1月15日発行  
(第183号)

明けまして  
おめでとうございます。

新型コロナに感染したと、  
身近な人たちから聞くよう  
になっていきます。長引くマス  
ク生活ですが、気を緩めない  
で予防しましょう。

そんなコロナで大変な生  
活のなか、年金は下がり続け  
る、医療費は上がる、そして  
凄まじい物価の高騰です。

今年は統一地方選挙があ  
ります。市民の暮らし最優  
先！改憲は絶対許さない！  
そしてジェンダー平等が生か  
されるために、女性差別撤廃  
条約の選択議定書批准を。

私たちの生活を良くして  
いくために、身近な選挙から  
政治を変えていきましよう。

女性部長 江黒泰子



「女性のくらし実態アンケ  
ト」へご協力ありがとうございました。全支部が参加、過半数  
が返ってきました。今は汗をか  
きながら集計中、結果は順次ご  
報告します。

「新婦人しんぶん」  
10月22日号に  
全日本年金者組合  
女性部長・中川滋  
子さんの「女性の  
低年金について」  
のお話が掲載され  
ました。新婦人し  
んぶんの許可を得  
て転載します。

## 女性の低年金是正へ 国庫負担で月8万円 最低保障年金制度を

全日本年金者組合副執行委  
員長・女性部長 中川滋子  
さんと考える①

物価高のなか6月から年  
金が減額され、怒りがひろ  
がっています。75歳以上  
の単身女性の貧困率は3割  
にのぼり、どの世代よりも  
高くなっています。女性の  
低年金は大きな社会問題で  
す。全日本年金者組合の中  
川滋子女性部長に聞きまし  
た。

8割は10万円未満

「ただでさえ少ない年金  
からも容赦なく税金や社会  
保険料が引かれ、不安を増  
大させています。」

いま年金者組合女性部で  
は「低年金女性の実態」を  
集めています。寄せられた  
証言を紹介します。

●「年金が6月から下がっ  
て月8万円に。食事1日2  
回。服も、ここ7、8年同  
じものを着ている。冬は灯  
油代の負担が大変。家は築  
40年以上のために壁等に  
傷みがあり、修理が必要だ  
が手が回らない。これまで  
少しはあった子どもからの  
援助も、コロナの影響で仕  
事が減り、ままならない状  
況」(北海道80歳)

●「一人暮らしで月7万円の  
年金。生活できず2人の姉  
妹から少しずつ援助を受け  
ている。朝4時に起きてピ  
ラのポストインなどで働き  
ギリギリの生活をしていて  
これからのことを考えると  
頭が爆発しそう」(埼玉7  
2歳)

2面へ続く

## 赤紙配りに参加

12月8日は81年前に日本が戦争を始めた日です。青年たちは赤紙（召集令状）1枚で徴兵されました。この戦争で多くの尊い命が失われてしまった反省から、「戦争放棄」を謳った新しい憲法が生まれました。

ところがいま、政府は「専守防衛」から「敵基地反撃能力保有」を宣言した安保3文書の閣議決定、10兆円を超える軍事費を来年度予算案に計上するなど憲法を踏みこむ暴走を始めています。軍事費拡大の財源どうするのか。岸田政権のもとでは増税、社会保障費の削減が明白です。

私たちは憲法をいかに、平和な外交手段で戦争の心配のないアジアを作るための政策を求めます。



「赤紙」を配る高橋さん（右）

母親連絡会と行った赤紙配りでは、女性部の高橋つや子さんと一緒に「戦争はだめ」「平和が一番」という気持ちを込めて、手渡しました。  
(西田美津子)

## 支部女性部紹介

### 長岡京支部



### 心と心をつないだタペストリー

しかし100枚をつなげる作業は簡単ではありません。ところがそこに強力な助っ人として押し絵サークルの方が現れ、美しく見事な大タペストリーに仕上げてくださいました。みんな感激、大満足。

その年の年金一揆でデビュー、その後はいろいろな場で活躍しています。今や女性部のシンボルです。タペストリーの中にみんながいます。（猪儀敬子）

### 1面から続く

●「私の年金は月6万円余、夫は5万円余、合わせて12万円余。その中から介護保険料、国民健康保険料、医療費、デイサービス利用料などを引くと残りは9万円余で、2人で生活することはできない精神的に落ち込む」（東京74歳）  
3人とも月10万円以下の生活です。

女性のうち、国民年金の受給者はそのほとんど、厚生年金（基礎年金含む）でも約半数が10万円未満です。

全女性受給者79%にあたる約2300万人が10万円未満です。それ以外に、数十万人の無年金の人がいます。物価が上がっても平均賃金下がれば、年金を削減する制度によって、年金は下がりっぱなしです。今の物価高騰のなかで、さらに生活を切り詰められていることに胸が詰まります。

医療保険料は平均月6200円です。また2000年に始まった介護保険制度によって40歳以上の全員が保険料を払うことになりましたが、当初の平均月額2911円から、現在は6014円と2倍以上に膨れ上がっています。滞納者は増え続け、2年間以上の滞納で資産を差し押さえられた人は過去最多を更新し続けています。保険料は医療と介護を合わせると1万円を大きく超え、低年金の高齢者に重くのしかかっています。

（2月号に続く）

